

1996～97年

年 次 報 告

平成8年～平成9年度



横浜緑ロータリークラブ

■築け未来を■
■行動力と先見の眼で■

BUILD THE FUTURE
WITH ACTION AND VISION



1996～1997 年度国際ロータリー会長
ルイス・ビセンテ・ジアイ
Luis Visente Giay

第 2590 地区 ガバナー 青 山 彰 義



横浜緑ロータリークラブ会長

小 林 新 一

目 次

会 長 報 告	1
幹 事 報 告	3
活 動 報 告 書	8
理 事 会 議 事 録	14
総 会 議 事 録	22
S . A . A 報 告	23
クラブ奉仕委員会報告	23
出席委員会報告	25
職業分類委員会報告	28
親睦活動委員会報告	28
雑誌委員会報告	29
会報委員会報告	30
会員選考委員会報告	30
会員増強委員会報告	31
プログラム委員会報告	31
ロータリー情報委員会報告	34
広報委員会報告	34
社会奉仕委員会報告	35
青少年奉仕委員会報告	35
青少年委員会報告	36
インターアクト委員会報告	37
ローターアクト委員会報告	38
職業奉仕委員会報告	38
国際奉仕委員会報告	38
世界社会奉仕委員会報告	39
ロータリー財団委員会報告	40
米山奨学委員会報告	41
会 計 報 告 書	43
横浜緑ロータリークラブ組織表	45
備 品 目 録	46
充填・未充填職業分類表	47

会 長 報 告

会 長 小 林 新 一

今期、ジアイ R I 会長のテーマである「築け未来を・行動力と先見の眼で」に基き、当クラブとして存在価値のある活動を考え、その実践に努めてまいりました。

今年度の活動の一環が若者達の未来の夢と、ロマンに継がるよう、そして、その礎となるべく、各理事、委員長をはじめ諸先輩の意見を拝聴してまいりました。

そして四大委員会、並びに各委員会につきましては既に会報にて報じられました通り、それぞれの委員長の報告が述べられておりますので省略させていただきますが、各委員長の御尽力により、地域行政への協力、青少年の育成浄化等々、各分野において成果を収める事が出来たと確信いたしております。

又、歴代会長が唱えられておられます「クラブの融和」の問題につきましても、親睦が主体とは言うものの、会員全員が協力して達成出来るものであり、S A A、プログラム（卓話）、出席、親睦と一体となり、企画し行動することにより、一層の会員相互の信頼と親睦が図れるものと思い、任期中クラブの繁栄を考えそれを前提として、固い信頼のもとに、親睦の実をあげるべく努力をしてまいったつもりでございます。

クラブは永遠のものであります。ジアイ R I 会長の言の如く、一人一人の信頼の絆のもとツーツの和を積み重ねることによって、よりよい人間関係が生れ、それがクラブの発展に継がって行くものと思います。

毎回の例会がそれぞれの意義を持つよう、そして「出席してよかったー！！」と思う例会とは何であるのかー！！原点に帰って今一度考えるべき時ではないでしょうか。

「ユーモアは人を和ませる」といわれますように、厳粛な例会の中にもウィットやユーモアを解し、会員各人の交流をフルに生かすよう、全員の課題として考えて行きたいものです。会員の増強、クラブの発展、共に重要な要因を含んで居ります。今後も我がクラブとしての自覚のもと務めてまいります。

最後になりましたが、この一年間微力な私を支え御協力下さいました理

事、役員をはじめ、会員の皆様に心より感謝申し上げます。
有り難うございました。

卓 球 事 報 告

幹 事 金 子 朝 夫

副幹事 加 藤 喜 夫

クラブの概況

名 称 横浜緑ロータリークラブ

地 域 横浜市 緑区、青葉区、都筑区

総人口

世帯数

緑 区 150,456 名 56,305 世帯 (平成 9年 4月30日)

青葉区 255,146 名 95,113 世帯 (”)

都筑区 128,406 名 44,661 世帯 (”)

事 務 局 〒226 横浜市緑区中山町230 横浜銀行中山支店内

TEL・FAX 933-1651 (直通)

例 会 場 同 上

例会日時 毎週水曜日 12時30分～13時30分

設 立 昭和45年 2月28日 (スポンサークラブ横浜港北RC)

昭和45年 3月11日 RIの正式加盟承認

特別代表 山 崎 外 一

昭和45年12月13日 認証状伝達式 4クラブ合同

(於 横浜文化体育館)

昭和53年 5月27日 横浜田園RC創立総会

(於 三井銀行青葉台支店) (移籍会員 4名)

昭和52年11月23日 桐蔭学園高校インターアクトクラブ 認証状伝達式

(於 桐蔭学園)

昭和55年11月23日 桐蔭学園高専ローターアクトクラブ 創立総会

(於 桐蔭学園)

昭和59年 3月27日 横浜たまRC創立総会

(於 和光証券) (移籍会員 5名)

平成 3年 5月28日 新横浜RC創立総会

(於 新横浜国際ホテル) (移籍会員 0名)

付 記 所属地区は当初第 359地区、昭和49年 7月第 359地区より山梨県・静岡県を区域とす

る第 362地区が分割され、当地区は神奈川県 1県となりました。

昭和52年 7月より R I の地区変更により第 259地区となりました。

平成 3年 7月より R I の地区変更により第2590地区となりました。

1 . 会 員 （平成 9年 6月30日現在）

(1) 会員の種類

正 会 員 27名

シニア・アクチブ会員 16名

計 43名 (内 チャーターメンバー 3名)

(2) 年 令

30才台～ 1名 最高年令 78才

40才台～ 7名 最低年令 39才

50才台～ 12名 平 均 59才

60才台～ 14名

70才以上 9名

(3) 現会員で当クラブ会員としての在籍期間

1 年未満 4名

1 ～ 3年 8名

4 ～ 6年 6名

7 ～ 9年 9名

10年以上 16名 平 均 9.8年

2. 例会来客数

例 会 数 49回

来 客 数 ビジター 24名 ゲスト 48名 計 72名

月	例 回 数	ビジター	ゲ ス ト	月	例 回 数	ビジター	ゲ ス ト
7	5	3	2	1	3	1	2
8	3	1	6	2	4	2	3
9	4	3	4	3	4	1	6
10	5	6	4	4	5	3	2
11	4	2	4	5	4	1	6
12	4	1	6	6	4	0	3
小計	25	16	26	小計	24	8	22
例回数 49 ビジター 24 ゲスト 48 計 72 名						累計	3,559 人

[入 会 者]

岩 崎 恒 雄 君	平成 8年 7月 3日	呉 服 店
鶴 岡 武 君	平成 8年 7月 3日	製 造 業
武 藤 泰 典 君	平成 8年 7月 3日	電 氣 器 具 製 造
河 渕 雄 君	平成 9年 5月 7日	電 子 試 験 機

[退 会 者]

藪 島 五 郎 君	平成 8年12月31日	健 康 上
堀 井 基 章 君	平成 9年 6月30日	職 務 上
金 子 朝 夫 君	平成 9年 6月30日	職 務 上

[歴代会長・幹事及び会員数、出席率]

	会 長	幹 事	就 任 時	年 間	備 考
			在籍会員数	出 席 率	
創 立 時	石 川 治 道	柴 田 清	24名	92.86%	45年 6月迄
昭和45～46	石 川 治 道	柴 田 清	24名	98.58%	
46～47	秋 田 茂	三 澤 君 夫	41名	98.09%	
47～48	小 林 安 雄	高 橋 正 文	40名	94.29%	
48～49	加 藤 雅 光	名 倉 健 二	37名	97.40%	
49～50	鶴 川 昇	山 下 栄 蔵	39名	97.67%	
50～51	名 倉 健 二	武 藤 松 一	42名	97.38%	
51～52	中 山 恒三郎	岩 沢 幸 男	47名	98.60%	
52～53	三 澤 君 夫	岡 本 健	48名	98.82%	
53～54	森 善 助	浜 田 勝 弥	47名	98.57%	
54～55	山 下 栄 蔵	戸 田 裕 也	50名	98.74%	
55～56	岡 本 健	代々木 和 男	45名	99.33%	
56～57	岩 沢 幸 男	中 林 靖	50名	99.18%	
57～58	田 辺 政 雄	内 野 晃	48名	99.11%	
58～59	武 藤 松 一	渡 辺 武	50名	97.86%	
59～60	戸 田 裕 也	寺 崎 誠 三	45名	96.31%	
60～61	田 沼 文 衛	岩 岡 正	45名	96.27%	
61～62	中 林 靖	赤 柄 忠 昭	50名	97.83%	
62～63	内 野 晃	藪 島 五 郎	51名	96.96%	

63～64	代々木 和 男	遠 藤 真 作	53名	95.65%
平成 1～ 2	藪 島 五 郎	幸 内 伸 雄	47名	94.68%
2～ 3	近 藤 襄	渡 辺 宏 未	51名	94.54%
3～ 4	幸 内 伸 雄	横 井 好 明	50名	93.68%
4～ 5	遠 藤 真 作	日 高 信 良	44名	92.01%
5～ 6	横 井 好 明	遠 藤 一 典	44名	92.09%
6～ 7	渡 辺 宏 未	井 上 周 輔	47名	92.61%
	横 井 好 明			
7～ 8	中 林 靖	脇 田 幸 一	41名	92.64%
8～ 9	小 林 新 一	金 子 朝 夫	42名	93.20%

[チャーターメンバー] 現会員 3 名

秋 田 茂	昭55. 2.20死去	足 立 英 一	昭46. 9. 1退会
石 川 治 道	昭52. 6.30退会	麻 生 和 衛	昭54.12.26退会
岩 崎 董 正	昭57. 6.30退会	藤 森 茂	昭47. 4. 5退会
小 林 安 雄	平 7. 6.30退会	浜 田 淳太郎	昭48. 1.31退会
小 峰 政 博	昭48.10.20退会	細 辻 文 次	昭47. 6.28退会
	相模原南RCへ	岩 本 正 三	昭63. 7.11死去
中 山 恒三郎	昭60. 4.24退会	松 田 三 郎	昭47. 6. 7退会
柴 田 清	昭48. 4. 4退会	三 橋 英 一	平 4. 3.21死去
鈴 木 憲 一	昭54. 9. 1死去	名 倉 健 二	
土志田 昭 吉	昭54. 8.29退会	富 永 力	平 1.12.30退会
岡 本 健		鵜 川 昇	
志 田 宝	昭47. 1.29退会	吉 田 晴太郎	昭48. 5. 2退会
高 橋 正 文	昭50. 6.26退会		

[本年度地区役員]

鵜 川 昇 君	地区諮問委員会
鵜 川 昇 君	地区指名委員会
森 善 助 君	地区社会奉仕高齢者対策委員会
中 林 靖 君	ローターアクト委員会

[地区大会表彰]

(新マルチプル・ポールハリスフェロー)

中 林 靖 君 齊 藤 宏 一 君

(新ベネファクター)

小 林 新 一 君 山 下 栄 蔵 君

(新米山功労者)

岡 本 健 君 山 下 栄 蔵 君

活 動 報 告 書

幹 事 金 子 朝 夫

副幹事 加 藤 喜 夫

過ぎてしまえば早いもので、まもなく幹事としての1年間を終ろうとして居ります。

例回数も1298回に始まり、今日1346回の49回が開催されましたが、この1年間を振り返って見ますに正直の処反省しきりーでございます。どこまで会長の意とする処を実践できたのか、クラブの運営にどれだけのことが出来たのか、そんな思いで一杯ですが、何はともあれ諸先輩並びに会員皆様の御鞭撻を頂きながら、任期を務めさせて頂きました事に感謝申し上げます。

今期は期首早々の7月24日にガバナーの公式訪問がございまして、その準備に追われ、ガバナー訪問で今期がスタートした、そんな感でございました。

ガバナー公式訪問に際しましては、各委員長さんより時間の余裕もあまり無かったにもかかわらず、立派な活動計画をまとめていただき、青山ガバナー、二宮分区代理同席のクラブアッセンブリにおきましても活発な意見交換がなされ、幹事として大変意を強くしたものでございました。そして青山ガバナーよりは、特にジアイ R I 会長よりの急な提言として、青少年問題を取り上げたい、と言う事で毎年9月に行われておりました「青少年月間」を「新世代月間」と改めて、0才から30才までの巾広い新世代の活動を実施しなさいとの強い要望が出されました。そして、ロータリアンに対しては「ロータリアン・プラス」という考えをもって活動されたいとの御意見を頂きました。そして又、例会へ出席する事への意義について御自身の体験を例にあげられお話をして下さいました。これには少なからず共感をされたものと思います。

この様な事があってか、去る4月23日と5月7日の2回に亘って行われました、名倉会員より提案のクラブフォーラム「クラブの理想像を求めて」につきまして、会員それぞれが活発な、そして又貴重な意見が出された事に私自身反省と次期への期待を深く感じさせられました。本当に素晴らしい企画であったと思いました。

何を行うにしましても諺にあります様に「言うわ易く、行うわ難し」でありまして、クラブの融和、発展のためには全員協力の上に「良し」とした事は継続して実践すべきである事を改めて皆様をお願い申し上げる次第でございます。

さてここで当クラブの各委員会活動につきまして私なりに感じた事をお話しさせていただきますが、失礼の段がございましたらお許し下さいます様最初にお詫びをさせていただきます。

まず、クラブ運営のキーマンとも言われますS A Aであります。会期初めの 7月第1週より、急に前任者より引き継ぐ事となり、高橋S A Aにおかれては会員の名前も顔も判らないままの就任で、さぞかし戸惑いがあられた事と思われそうですが、さすが勉強熱心ですぐにその任を理解なされ、スムーズな例会の運営にご協力なさいました。本当に御苦労さまでございました。

クラブ奉仕委員会におかれましては、先般遠藤委員長より詳しくご報告を頂いた通りでございますが、そのなかで会員増強につきましては年度始めに岩崎会員、武藤会員、東根会員、鶴岡会員の4名の入会がありまして幸先よいスタートを切り、会員数も45名となり念願の50名態勢へ山下会員増強委員長をはじめとし会員皆様もご努力をして下さいましたが、なかなか思うに任せぬなか、昨年12月に当クラブの「生き辞引き」と言われたパスト会長でもある藪島会員が健康上の理由で止むなく退会を余儀なくされました。クラブとしましても貴重な逸材を失った思いでございます。しかし本年 5月になりまして河淵会員を新たにお迎えするという明るいニュースがありまして、会員数においては年初と同じ45名で会期を終わることとなりました。

職業分類におきましては、三沢委員長が従来の分類を改められ新会員の受け入れの枠を拡大された事は今後のクラブの増強拡大に大いに意義あるものと思いました。

出席委員会でございますが、今期は病気による長期欠席者が多く、そのなかで井上委員長は出席の向上に大変御腐心なされ事あるごとに出席を促してこられました。そして今期最終の 6月をクラブ出席 100%月間とするなどご努力なされて居られます。先般委員長より発表されました出席率の報告によりますと今年 4月までの平均出席率が93.2%という高水準を保つ事が出来事はひとかたならぬご努力に感じ入る次第でございます。

親睦委員会は森委員長の細心の気配りによりまして、移動例会の席に長期病欠者も参加出来る様な企画をたてられ、楽しい時をすごさせて頂きました事は大変に素晴らしい事だと思いました。

広報委員会においては、横浜市緑区医師会主催のLMD (Let, Me, Decide) の講演会に当クラブも協賛させて頂き、会員も多数が参加し大変有意義な講演会で、緑公会堂が入りきれないほどの大盛況を収めた事は特筆すべき事と思います。大地委員長の御尽力に感謝申し上げます。

プログラムの加藤委員長は今期は予定の変更も多くあり、大変御苦勞をされた事と思います。しかし多くの卓話者を招き、地域の行政から専門的な医療問題、そして港北ニュータウンの遺跡発掘の話、更には河合プロによるゴルフ談議に至るまで大変ユニークな企画、編成に悩まされた事と思います。特にクラブフォーラムとして先程申し上げました「クラブの理想像を求めて」もさる事ながら、本年 2月19日と 2月26日の両日に行われた「クラブ創設を振り返って」につきましては各バスト会長のクラブの歴史についてのよもやま話やら、クラブに打ち込まれた熱い想いが込められ貴重な体験、そして御意見を頂いたと思って居ります。まさに「温故知新」そのものと実感致しました。

会報の小林委員長は限られた予算で編成に取り組まれ苦闘をされた事と思います。と申しますのは、プログラムの都合で急に卓話をお願いした時は別と致しまして、決められた卓話者は原稿を用意して下さることで編集の予算が大幅に節約される訳でございます。是非これからもご協力下さいます様お願い致します。

予算と申しますと、会計をお願いしております須藤会員には限られた収入のなかで予定外の出費も少なからずありまして大変御苦勞をおかけ致しました。不特定収入のピジターの数も今年は49回の例会に対して24名の方がお見えになられました。約2回に1名という割合ですが、もう少し多くお見え頂ければな……とはかない期待をもつ次第です。それはとも角と致しまして、待望の会員50名態勢が達成出来れば幾分の余裕ある予算編成も期待出来るかと思いますが、今一步の現況において厳しさを余儀なくされて居り窮状お察し致す処でございます。

雑誌委員会の斉藤委員長におかれては本当に熱意ある取り組みをして頂いたと思って居ります。4月の雑誌月間には「ロータリーの友」の発刊の意義を伝えられると共に、その購読に対してのロータリアンの意識調査の

発表や「卓話の泉」など独自の所見を混えての紹介をなされました。又適時その内容についてユニークな見識のある注釈を加えてのお話には私ごとき横着者はその話を伺ってから目を通すといった次第でした。

社会奉仕委員会におきましては、今期青山ガバナーが特に関心を持たれた委員会の1ツで、公式訪問の時にも「今期は何をお考えですか」と質問された記憶がございます。今期は緑消防署への防災看板の寄贈を行い、地域行政への積極的な協力を致しました。又、恒例の慈善バザーを開催し、今年はあます処なくすべて完販という大盛況でありました。長沼委員長有難うございました。

そしてガバナーより要請のありました「新世代月間」にちなみまして、堀井青少年奉仕委員長と藤津職業奉仕委員長のお骨折りによりまして「新世代のためのプログラム」を成功させました。このプログラムについて昨年の8月に地区の打合せ会がありまして、各分区に別れてその方法等を話し合ったのですが議論百出の経緯がございました。こんな経緯を踏んまえて堀井委員長は悩まれた事と思います。そして渡りに舟というか、まさに助け神として藤津委員長から「東鴨居中学校で環境浄化運動をやって居り御自身がPTAの会長を務めているので一肌脱いで下さる事となり、この運動が実現致した次第でございます。そしてこの運動は行政と地域自治会を含めた大々的なもので、東鴨居中学校の学区内にある青少年の害となる様な看板類や電話ボックス内の貼り紙等を一扫するというもので、その成果を立派に達成されました。この事が偶々来日中のジアイR I会長の耳にする処となりまして、当クラブで行ったその運動の資料を求められたと聞いております。

この新世代のためのプログラムにつきましては単年度で終るという事で急拠実施された事でありましたが、他のクラブも結果として積極的な取り組みをされた事もありまして、一転して継続した事業になる様な話も聞いて居ります。

継続事業といえは青少年委員会のライラ、それにインターアクト、ローターアクト委員会では桐蔭学園を中心とした活動もその一環でありまして青少年の育成についての活動でありまして、その結果については過日市瀬委員長、村松委員長、斉藤委員長よりお話を頂いた通りでございますが、地道であり、大げさに言えば明日の日本を背負う若者達のための活動でもあるわけございまして、各委員長のコツコツと積み上げる努力がうかが

えます。

そして更に大切な継続事業として米山奨学委員会並びにロータリー財団委員会がありますが、この両委員会は土志田委員長と岡本委員長の御苦勞によりまして地区よりの指示目標額を達成されました。米山委員会においては本年 2名の米山功勞者を送り出す事が出来ました。又ロータリー財団委員会におきましてはベネファクター 2名、マルチプル 2名、そしてポールハリスフェロー 1名と実績を収められました。そして地区大会において米山奨学金2000万円達成クラブとして表彰されまして地区へ大きな貢献をされたと思います。継続をするとの意味の重さを感じされ、他の事業に対しても活動目標の糧となる表彰であったと実感いたしました。両委員長本当に有り難うございました。そして継続という表現は失礼な申し様かも知れませんが、奨学生に対して永年に亘りましてカウンセラーをお願い致して居ります森善助会員には深く感謝申し上げると共に申し訳ない気持ちでございます。これこそ地味ではありますが大変に大きな功績ではなかろうかと只々頭の下がる思いでございます。国際奉仕委員会におきましては、今期あざみロータリークラブが提唱したボリビアの倉橋神父へのコピー機の贈呈の運動がありまして、当第5分区57クラブのうち14クラブでしたから……！！この運動に協力する事となり、のちに地区より「同額補助金制度」として人道的な国際奉仕プロジェクトの遂行に森委員長はお骨折りをなされました。余談になりますが国際奉仕の活動の海外への援助につきまして、以前よりよく言われておりますが、援助物資、援助資金等が目的とする活動に使われてない、という話がしばしば聞かれますが後進国の実情は私共の計り知れない事が多くある様です。又、先般中国へ行って来たという人の話として、中国へ送ったワープロやコピー機が使われないままホコリにまみれていた、といった話もありまして、国際援助のムツカシさを知らされました。とても日本では考えられない様な事が、当り前の様にまかり通るありさまで、折角のロータリアンの浄財が本当に正当に使われる様望む次第です。以上、各委員会におきましては積極的に諸活動に取り組んで下さっておられる事は御承知の通りでございます。各委員長さんにはその御努力、御協力に対しまして深く感謝申し上げます。本当に有り難うございました。

今期の諸活動を顧りみするに、先に申し上げましたガバナーのお話しの「ロータリアン・プラス」の意向はすべてとは申しませんが、随処の活

動におきまして達成されたものと思います。これは会員皆様のクラブに対する熱意の表れと思って居ります。

先輩会員の苦言、提言、若い会員の活発な行動力を近く30周年を迎えるクラブとしての新たな原動力となし、創造性豊かなクラブの運営を継続して頂きたいと思います。

最後になりましたが、地区の最大のイベントであります地区退会にコ・ホストクラブとして登録委員会を案内進行委員会という重要なポストを受け持つ事となりまして、三沢委員長、遠藤委員長のもとで綿密な打合せを行い、スタッフ、委員の皆様の協力のもとに立派に大会を成功に導かれ、当クラブと致しましても両委員長をはじめ、その任に当られた皆様のお陰で大変に誇らしい思いでございます。

とりとめもなく申し述べてまいりましたが、私幹事と致しまして、いろいろ勉強をさせられた1年でございます。しかし皆様の温かい友情と寛容によりまして何とかその重責を務めさせて頂きました事、改めて感謝申し上げます。有り難うございました。

理事会議事録

第 1回 理 事 会

1. 日 時 平成 8年 7月 3日 13:40 ～ 14:00
2. 理 事 遠藤一典、堀井基章、加藤喜夫、小林新一、三沢君夫
森 宏、長沼 博、中林 靖
- 幹 事 金子朝夫
- 会 計 須藤保夫
3. 議 題
 1. インターアクト海外研修の件
桐蔭学園より 4 名の参加
補助金として ¥353,600-支出 (承認)
 2. 出席義務規定免除願の件
近藤 襄会員 病氣療養のため H8.7/3 ～ (承認)
藪島五郎会員 病氣療養のため H8.7/3 ～ (承認)
 3. 夜間例会の件
納涼船による横浜港遊覧 7/31 (水) 午後 6 時より

第 2回 理 事 会

1. 日 時 平成 8年 8月 7日 13:35 ～ 14:10
2. 理 事 藤津 均、加藤喜夫、小林新一、三沢君夫
森 宏、長沼 博、中林 靖
- 幹 事 金子朝夫
- 会 計 須藤保夫
3. 議 題
 1. 交換学生受入れの件
当クラブにて受入れの事は決定している
日本到着の連絡がまだない
 2. 第2590地区 1996 ～ '97 年度地区大会の件
当クラブは次の委員会を受持つ事となった
 - ・登録委員会
 - ・案内進行委員会

臨時理事会

1. 日時 平成 8年 8月21日 13:40 ～ 14:00
2. 理事 遠藤一典、藤津 均、加藤喜夫、小林新一、三沢君夫
森 宏、長沼 博、中林 靖
- 幹事 金子朝夫
- 会計 須藤保夫
- 特別参加 名倉青少年奉仕副委員長（堀井委員長代理）
3. 議題

1. 新世代のためのプログラムの件
 - ・当クラブ単独開催とする
 - ・東鴨居中学校の環境浄化運動に協賛する
2. 青葉区少年野球連盟第4回大会開催の件 (否認)
当クラブは次の委員会を受持つ事となった
 - ・登録委員会
 - ・案内進行委員会
3. 青山ガバナーより 7/24 公式訪問についてのお礼状が届きました

第3回理事会

1. 日時 平成 8年 9月 4日 13:35 ～ 14:10
2. 理事 遠藤一典、藤津 均、堀井基章、加藤喜夫、小林新一
三沢君夫、森 宏、長沼 博、中林 靖
- 幹事 金子朝夫
- 会計 須藤保夫
3. 議題

1. ローター交換学生の件
8/10オリエンテーションがあり当クラブにて
アダム・ニューリン君（17才）を受入れる
（横浜商大附属高校に入学）
2. IAC第3回オリエンテーションが8/17横浜市中区の相生にて行われました（結団式）
当クラブより桐蔭学園生徒3名、教師1名が参加

第 4回 理 事 会

1. 日 時 平成 8年10月 2日 13:40 ～ 14:00

2. 理 事 遠藤一典、藤津 均、小林新一
森 宏、長沼 博、中林 靖

幹 事 金子朝夫

会 計 須藤保夫

3. 議 題

1. 米山梅吉記念館建設寄金の件 (承認)
2. G S E派遣メンバー推薦の件 (否認)
3. 長野オリンピック募金依頼の件 (承認)
4. C C W A (国際精神里親運動) 募金の件 (否認)
5. 年次報告書作成(井上会員)に対する謝礼の件 (承認)
6. インターアクトへの補助金の件 (承認)
7. 交換留学生への補助金の件 (承認)

第 5回 理 事 会

1. 日 時 平成 8年11月 6日 13:35 ～ 14:15

2. 理 事 遠藤一典、藤津 均、堀井基章、小林新一
三沢君夫

幹 事 金子朝夫

会 計 須藤保夫

3. 議 題

1. 次年度理事選任の件
・遠藤副会長(会長エレクト)に一任
2. I A C、R A Cの諸問題の件
・バスト会長が相談の上、次年度理事へ提案
3. 新世代プログラムの件
・11/23 東鴨居中学校に於て発表会を開催する
4. 出席免除扱いの件
・小林照二会員、高嶋経保会員 両名の病気による
長期欠席届 (承認)
5. 12/4 クラブ総会を開催する、幹事より
会員全員に通知し、出席をお願いする

第 6回 理 事 会

1. 日 時 平成 8年12月 4日 13:35 ～ 14:20

2. 理 事 遠藤一典、藤津 均、小林新一
三沢君夫、森 宏、中林 靖

幹 事 金子朝夫

会 計 須藤保夫

3. 議 題

1. 平成 9 年度緑消防署出初式の件

・ 1/8 (水) 開催 祝金贈呈 (承認)

2. 横浜市医師会及び新緑病院主催の医療講演会の件

・ 2/6 緑公会堂に於て開催する 当クラブも協賛する

3. あざみ R C 提唱によるボリビアの倉橋神父支援のための
補助金申請について当クラブも協力をする

4. 藪島五郎会員(病氣療養中)より提出の退会届の件

・ H8.12/31付を以って受理することを承認

5. 1998～'99 年度ガバナーノミニー告知の件

・ 第2590地区ガバナーノミニー候補者として R I 細則に
基づき 大須賀 洋(横浜 R C)を指名した旨の通知が
ありました

6. H9.2/22 I M (都市連合会) が新都市ホールにて
開催されます

第 7回 理 事 会

1. 日 時 平成 9年 1月 8日 13:35 ～ 14:15

2. 理 事 遠藤一典、藤津 均、堀井基章、加藤喜夫、小林新一
三沢君夫、森 宏、長沼 博、中林 靖

幹 事 金子朝夫

会 計 須藤保夫

3. 議 題

1. 新世代のためのプログラム活動の件

・ 11/23 開催した「青少年を守る東鴨居中学校区環境浄化
推進協議会」の資料を青山ガバナーを通じジアイ R I 会
長へお渡ししました

2. 横浜港北 R C 創立 35 周年式典の件

- ・ 1/30 新横浜プリンスホテルにて開催される

会長、幹事 出席

(承認)

臨時理事会

1. 日時 平成 9 年 2 月 19 日 13:35 ~ 14:00

2. 理事 遠藤一典、藤津 均、加藤喜夫、小林新一、三沢君夫
森 宏、中林 靖

幹事 金子朝夫

会計 須藤保夫

3. 議題

1. 緑消防署へ防災看板の寄贈の件

- ・ 社会奉仕委員会の活動として行う

・ 看板作成費 ¥330,000- (見積り額)

(承認)

第 8 回 理事会

1. 日時 平成 9 年 2 月 5 日 13:35 ~ 14:00

2. 理事 遠藤一典、藤津 均、堀井基章、加藤喜夫、小林新一
三沢君夫、森 宏、長沼 博、中林 靖

幹事 金子朝夫

会計 須藤保夫

3. 議題

1. 2/22 開催の I M (都市連合会) の件

- ・ 曾野綾子女子の講演もあるので御婦人の参加を呼びかける

2. G S E 来日メンバーの当地域来訪の件

- ・ 4/12 あざみ R C の例会に来日メンバー全員参加し

書道、着物の着付け等を体験する

参加をしてやって下さい

第 9回 理 事 会

1. 日 時 平成 9年 3月 5日 13:35 ～ 13:50
2. 理 事 遠藤一典、藤津 均、堀井基章、加藤喜夫、小林新一
三沢君夫、森 宏、長沼 博、中林 靖
- 幹 事 金子朝夫
- 会 計 須藤保夫
3. 議 題

1. 国際ロータリー第88回年次大会の件
・ 1997.6/15 ～ 18 の間スコットランドグラスゴーにて
開催されます
旅行社よりの案内の要請がありました

第10回 理 事 会

1. 日 時 平成 9年 4月 2日 13:35 ～ 14:20
2. 理 事 遠藤一典、藤津 均、加藤喜夫、小林新一
森 宏、中林 靖
- 幹 事 金子朝夫
- 会 計 須藤保夫

特別参加 森出席委員長、斉藤副委員長

3. 議 題
1. 定款による休日の件 (プログラムに余裕なし)
2. 4/30夜間例会開催の件 (青葉台聘珍楼)
3. 6/18期末懇親会の件 (熱海石亭)
4. 慈善バザー開催の件 (5/21緑区役所広場にて行う)
5. 第2590地区ローターアクト地区協議会参加の件
(中林副会長出席)
6. 1997～'98 年度インターアクト役員研修会参加の件
7. 当クラブ30周年式典費用積立金の件
・ 来期より会費を併せて徴収をする (承認)
8. 地区大会への協力についてお礼の件
・ 大会実行委員会よりお礼の贈呈がありました
9. H9.3/31迄のクラブ会計の予算と実績の報告

臨時理事会

1. 日時 平成 9年 4月23日 13:35 ～ 14:10
2. 理事 遠藤一典、藤津 均、加藤喜夫、小林新一
森 宏、中林 靖
- 幹事 金子朝夫
- 会計 須藤保夫
3. 議題

1. 新入会員の件
 - ・河渕 雄氏（山下会員、鶴岡会員 推薦）（承認）
2. 横浜 R C 70周年記念式典参加の件（会長出席）
3. 川崎ローターアクト25周年記念参加の件（中林副会長出席）
4. 1997年度米山奨学生の件
 - ・陳民君（香港）桐蔭学園大学院修士課程 '97～'99
5. 川崎とどろき R C 承認状伝達式参加の件
（遠藤副会長、幹事出席）
6. 地区協議会参加の件（出席義務者全員に連絡済）
7. 緑消防署長歓送迎会参加の件（加藤理事出席）

第11回 理事会

1. 日時 平成 9年 5月 7日 13:35 ～ 13:50
 2. 理事 遠藤一典、小林新一
三沢君夫、森 宏、長沼 博、中林 靖
 - 幹事 金子朝夫
 - 会計 須藤保夫
 - 特別参加 井上出席委員長
 3. 議題
1. 会費滞納会員の件（催告をする）
 2. 慈善バザー 5/21開催の件（長沼委員長より会員に通達する）
 3. 期末懇親会の件（会費承認）
 4. 横浜 R C 70周年式典へのお祝いの件（承認）
 5. 当クラブ30周年記念の開催年度の件
（6月理事会にて決定する）
 6. 出席率 100%月間の件

- ・ 6 月を出席 100% 月間としたいとの提案 (承認)

第12回 理 事 会

1. 日 時 平成 9年 6月 4日 13:35 ～ 14:15
2. 理 事 遠藤一典、藤津 均、小林新一
三沢君夫、森 宏、長沼 博、中林 靖
- 幹 事 金子朝夫
- 会 計 須藤保夫
3. 議 題

1. 新理事の変更の件

- ・ 堀井理事（社会奉仕委員長）が職務のため辞意の申し出
あり 森 一誠会員を新理事とする (承認)

2. 当クラブ創立30周年記念式典の開催年度の件

- ・ 2000年開催とする

担当理事、実行委員長の選任は次年度へ申し送る

3. 5/21開催の慈善バザーの報告の件 (売上金 ¥134,700-)

4. 長期欠席者の件 (次年度期首に於て協議する)

5. インターアクトの予算の件

(委員長の責任に於て予算内で処理する)

6. 「米山梅吉翁永久保存版写真集」購入の件

- ・ クラブの蔵書として1冊購入する (承認)

7. 朝日エコーへの暑中見舞公告掲載の件 (承認)

8. 緑区役所より依頼の「2008年オリンピック、パラリンピック を招致する緑区民の会」への支援の件 (一時保留)

総 会 議 事 録

H 8 . 1 2 . 4 年次総会開催

新理事選出

1997～'98 年度新理事

遠藤一典、藤津 均、堀井基章、井上周輔、市瀬栄一
小林新一、加藤喜夫、代々木和男、脇田幸一

横浜緑 R C 定款第 4 条、第 2 節に則り年次総会を開催し
以上 9 名が選出されました

尚、役員として

S A A	村松勇治
幹 事	森 宏
会 計	須藤保夫

以上決定しました

S . A . A 報 告

S A A 高橋忠男

副 S A A 田中亮二

副 S A A 長沼 博

当年度の例会は、当初の活動計画を基本としまして、会員各位のご協力のもとに次のとおり円滑に運営することができました。

1. テーブルは座席指定とし、開会のチャイムが鳴ったら全員一斉に着席し、例会は常に定刻に開会することができました。
2. 開会前および食事時間には B G M を流し、会員の心が和らぐように務めました。また、誕生祝の時には全員でバースデーソングを合唱し、祝福の心を伝えるとともに、祝福された方はユニークなスピーチで感謝の気持ちを返し、ホットな雰囲気醸し出しておりました。
3. 例会は、会長の点鐘で始まり、ゲスト紹介、会長報告、幹事報告、委員会報告、食事、卓話、閉会の点鐘で終り、と常に会員各位のご協力により円滑に進めることができました。
また、ニコニコ、ニガニガ報告及び出席報告は食事時間に実施し、卓話は極力1時から開始できるように務めました。
4. 例会での喫煙は自由としましたが、喫煙された方からは漏れなく環境基金にご寄付いただきました。

以上

ク ラ ブ 奉 仕 委 員 会 報 告

委 員 長 遠藤一典

副委員長 大地哲郎

ロータリー活動の「カギ」は、例会が楽しく有意義なものであったかどうかにつきるのではないのでしょうか。その意味ではクラブ奉仕委員会の活動内容が、大きな比重をしめていると思っています。小林会長の就任挨拶の中でもその重要性を述べていますが、この1年間の活動について次の通

り報告します。

例会の中心は卓話にあるわけですが、今期の主な活動をふりかえってみますと、大地会員より尊厳死についての卓話があり、更にLMD（自分で決める意識のない時の医療）について緑公会堂で講演会を開催、多くの会員も参加し、高齢化社会の問題点を指摘し、考えさせられたが、これからの社会の課題になってくるだろうと思いました。

卓話の中で「源平の争乱と武士の大鎧」や都筑公園については、郷土の歴史や文化を知る上で大変参考になったと思います。また、新会員や先輩会員による卓話と、会員相互理解や親睦の和を広めるよい機会にもなったと思います。

親睦委員会の役割については、申すまでもありませんが、ゴルフ大会や夜間例会を中心にその目的を達したと思っています。

毎例会報告される出席率の向上であります。井上委員長より、1年間の出席率の一覧表を作成していただき、6月を皆出席月間として設定し、その向上に努力したわけですが、年間通じて93.2%の成績を残したわけですが、ここ数年の結果や、昨今の社会情勢等からみればその目的は果たせたと思っています。

会員増強につきましても3名の新会員を迎えることができましたが、会期末に退会者もありました。

会報委員会の毎例会ごとの週報発行や、雑誌委員会からの報告、49回の例会のプログラム編成等各委員長さんはじめ、委員の努力で1年間のクラブ奉仕委員会の活動を締めくくりました。

出席委員会報告

委員長 井上周輔

副委員長 高嶋経保

委員 黒沼正雄

- ① 当年度ホームクラブ出席率 100% 会員1名 メークアップ後出席率 100% 会員14名 計15名の会員が出席率 100%を達成されました。出席計算に用いた会員数平均33名の15名で 100%達成率は 45.45%でした。
- ② 95%以上会員4名 90%以上会員7名 80%以上会員4名 70%以上会員2名 入、退会各1名となっており、会員各位の出席率向上に今少しの努力を今後に期待致します。
- ③ 出席率 100%月間を6月に設定し、当年度の期末懇親会、そして次年度への準備に会員各位の協力を期待しましたが、94.5%の出席率となり 100%達成出来ず残念でした。
- ④ 当年度出席率を昭和63～64年度以来の95%台への復活を期しましたが、93.2%と残念な結果に終わりました。低下傾向の続いた出席率が平成3～4年度以来の93%台に若干ながら向上しております。次年度の更なる出席率の向上を期待します。

1996	1	2	3	4	5
	例 会 日 付	会 員 総 数 (名譽会員 を 除 く)	出席計算に 用いた会員数	出席または メイクアップ した会員数	百 分 率
7月	3日	45	33	32	94
	10日	45	33	31	92
	17日	45	33	32	97
	24日	45	33	30	90
				合 計	373
				平均百分率	93.2
8月	7日	45	32	28	88
	14日			定款による休会	
	21日	45	32	30	94
	28日	45	32	30	94
				合 計	276
				平均百分率	92
9月	4日	45	32	29	90.6
	11日	45	32	30	94
	18日	45	32	29	90.6
	25日	45	32	28	88
				合 計	363.2
				平均百分率	91
10月	2日	45	32	30	94
	9日	45	32	27	84
	16日	45	32	32	100
	23日	45	32	26	80
	30日	45	32	夜間例会	100
				合 計	458
11月	6日	45	32	29	90.6
	13日	45	32	29	90.6
	20日	45	32	29	90.6
	27日	45	32	31	97
				合 計	368.8
				平均百分率	92
12月	4日	45	32	31	97
	11日	45	32	30	94
	18日	45	32	32	100
	25日	45	32	28	88
				合 計	379
				平均百分率	94.3

1997	1	2	3	4	5
	例 会 日 付	会 員 総 数 (名 誉 会 員 を 除 く)	出 席 計 算 に 用 いた 会 員 数	出 席 ま た は メ ー ク ア ッ プ し た 会 員 数	百 分 率
1月	8日	44	32	29	91
	15日	44	32	成人の日	
	22日	44	32	30	94
	29日	44	32	夜 間 例 会	100
				合 計	380
				平均百分率	95
2月	5日	44	33	27	82
	12日	44	33	32	97
	19日	44	33	33	100
	26日	44	33	30	91
				合 計	370
				平均百分率	92.5
3月	5日	44	33	29	88.2
	12日	44	33	31	94
	19日	44	33	33	100
	26日	44	33	33	100
				合 計	383.2
				平均百分率	95.8
4月	2日	44	33	29	88
	9日	44	33	33	100
	16日	44	33	29	88
	23日	44	33	31	94
	30日	44	33	夜 間 例 会	100
				合 計	470
5月	7日	45	34	31	92
	14日	45	34	30	89
	21日	45	34	33	97
	28日	45	34	31	92
				合 計	370
				平均百分率	92.5
6月	4日	45	34	31	91.1
	11日	45	34	32	94
	18日	45	34	期 末 旅 行	100
	25日	45	34	32	94
	30日	43			
				合 計	378
				平均百分率	94.5

職業分類委員会報告

委員長 三澤君夫
副委員長 藪島五郎
委員 横井好明

期中、藪島副委員長退会、横井委員長長期病欠のアクシデントに会い、委員会活動が十分に実行出来なかった事をお詫びします。

- ① 充填、未充填職業分類表の改定を行った。
- ② 未充填率の向上に努めたが成果が挙げられず
- ③ 行政3区（青葉、緑、都筑）の職業分類調査研究も充分に行われなかった。

以上

親睦活動委員会報告

委員長 森 一誠
副委員長 齋藤清紀
委員 井上周輔
関口将実 北原弘文
興山正三郎 岩崎恒雄
鶴岡 武 武藤泰典

1. 夜間例会

平成 8年 7月31日

桜木町 屋形船にて 会員 29名

10月30日

新横浜プリンスホテル タムタム 会員 30名

平成 9年 1月29日

花むら 会員 38名

4月30日

ハイチンロウ 会員 24名

2. クリスマス家族会

平成 8年12月18日

新横浜プリンスホテル 会員 27名
家族 10名

3. 家族会

平成 9年 4月 9日

新横浜プリンスホテル ボストン 会員 23名
家族 7名

4. 期末懇親会

平成 9年 6月18日

熱海 石庭 会員 29名

5. ゴルフコンペ

平成 8年 9月19日	程が谷カントリー倶楽部	会員 19名
平成 8年11月28日	裾野カントリークラブ	会員 14名
平成 9年 4月13日	グレートアイランド倶楽部	会員 15名
平成 9年 6月18日	箱根カントリー倶楽部	会員 15名

多数の行事が有りましたが、会員各位の御協力により無事に終了致しました。

雑誌委員会報告

委員長 斉藤宏一
副委員長 市瀬栄一
委員 脇田幸一

「ロータリーの友」の解説について

計画書に於て当年度は特に横のページ、それも「地方だより」に重点を置き、バブル崩壊後、各ロータリーの苦しみや、模様を伝えたいと思っていた。が案に相違して、どのようにくわしく見ても、その様な記事はなく予定とは異なってしまった。

その後方針を変えて表、裏表紙に書かれた二枚の同種の絵や文物の示す

東洋と西洋の交流の面白さにひかれ、これの解説に重点を置いた。私見も加えてあったので、いくらかは聞いてもらえた様に思っている。

会報委員会報告

委員長 小林照二
副委員長 森 善助
委員 藤津 均

例会翌週に必ず配布する事を目標に1298号～1346号迄発行致しました。

反省としまして、私ごとであります、病氣入院で長期欠席してしまいましたので、事務局の瀬島さん初め、関係者の方に多大のご迷惑を掛けてしまいました。皆さんの協力に心より感謝申し上げます。

会員選考委員会報告

委員長 名倉健二
副委員長 代々木和男
委員 内野 晃

横浜市行政上の再分区の影響で緑区の地図が縮小したため、会員選考上かなり手心を加えざるを得ない状況にある。しかし幸いにも今期入会した新会員は、人格もさることながら、当クラブ会員の平均年齢を下まわっていて、選考に気を使うこともなかった。

会員増強委員会報告

委員長 山下栄蔵
委員 三沢君夫
鵜川 昇 中林 靖

前期年度の経済情勢同様、政府発表によれば「岩戸景気をしのぐ景気拡大が続いている」と言われておりますが、職業人、特に中小企業者には、まだまだ厳しさが残っており、時間的なゆとりが無いことと、金銭的な負担が重荷となって、会員の皆様にも呼びかけての増強運動としたのでありますが、期中3名の増ははかれたものの、諸般の事情による退会者も生じ期初の目標は達成することが出来ませんでした。

プログラム委員会報告

委員長 加藤喜夫
副委員長 川井省三
委員 堀井基章

「卓話が楽しければ、例会も楽しくなるにちがいない。」

この思いの一年間でしたがいかがでしたでしょうか？

卓話、職業報告、フォーラムと会員各位の御協力と御教示によって、目標に近づけたのではないかと考えております。

皆様に深く感謝申し上げます。

1996年～1997年度(平成8年～9年度)

	クラブ・アッセンブリ	クラブ・アッセンブリ		クラブ・アッセンブリ		
週・月	平成8年7月	8月	9月	10月	11月	12月
第1週	3日 新会長 新幹事 就任挨拶 (定例理事会)	7日 卓話 ゴルフおもしろ話 河合プロ (定例理事会)	4日 卓話 経済成長の 見通しについて 野田幹雄さん (定例理事会)	2日 米山月間 について ソウチュル さん (定例理事会)	6日 職業報告 三沢会員 武藤泰典会員 (定例理事会)	4日 職業報告 東根憲一会員 年次総会 (定例理事会)
第2週	10日 新年度計画 四大奉仕委員長	14日 夏休み休会	11日 卓話 尊厳死について (大地会員)	9日 職業報告 鶴岡武会員 岡本 会員	13日 ロータリー財団 について (岡本会員)	11日 職業報告 岩崎恒雄会員 高橋忠男会員
第3週	17日 職業報告 川井省三会員 斎藤晃会員	21日 卓話 都筑区長 長沢毅さん	18日 青少年活動月間 について (堀井会員)	16日 職業奉仕月間 について (藤津会員)	20日 卓話 財団学友 田辺秋守さん	18日 クリスマス 家族会 新横浜プリンス ホテル
第4週	24日 ガバナー訪問	28日 会員増強 について (山下会員)	25日 栗拾い (矢嶋会員宅)	23日 国際奉仕 について (森宏会員)	27日 卓話 緑消防署長 宮本毅さん	25日 前半期を省みて 四大奉仕委員長
第5週	31日 夜間例会			30日 夜間例会		
年間行事	ガバナー訪問	会員増強月間 8月8日 拡大増強委員会	青少年活動月間 ゴルフ同好会 (19日)	米山月間 職業奉仕月間 アジア地区大会 バンコック (25-27日)	ロータリー 財団月間 ローターアクト インターアクト 年次大会(26日) ゴルフ同好会(26日)	定期総会 クリスマス家族会

横浜緑R C年間プログラム表

	クラブ・アッセンブリ	クラブ・アッセンブリ			クラブ・アッセンブリ	
週・月	平成9年1月	2月	3月	4月	5月	6月
第1週	1日 休会	5日 世界社会奉仕 について (協田会員) (定例理事会)	5日 卓話 緑区長 吉里弘明さん (定例理事会)	2日 卓話 都筑自然動物公園 (矢嶋会員) (定例理事会)	7日 フォーラム(4) 明日のロータリー (名倉会員) (定例理事会)	4日 次年度計画 について 会長エレクト (定例理事会)
第2週	8日 会長 幹事 新年の挨拶 (定例理事会)	12日 卓話 労務災害について 横浜北労働基準 監督署給付調査官 若林栄治さん	12日 卓話 青葉警察署長 中田さん	9日 ロータリー 家族会	14日 出席について (井上会員)	11日 一年を省みて クラブ奉仕 青少年奉仕 各委員長
第3週	15日 休会	19日 クラブ創設を 振り返って フォーラム(1) バスト会長 (臨時理事会)	19日 卓話 尊厳死について パート2 (大地会員)	16日 フォーラム(3) 明日のロータリー (名倉会員)	21日 卓話 港北ニュータウン 出土遺跡は語る 佐々木稔さん	18日 期末懇親会 熱海石庭
第4週	22日 ロータリー理解 推進月間について (名倉会員)	26日 クラブ創設を 振り返って フォーラム(2) バスト会長	26日 卓話 中里学園園長 木村稔明さん	23日 雑誌月間について (斎藤会員)	28日 一年を省みて 職業奉仕 社会奉仕 国際奉仕 各委員長	25日 会期終了挨拶 会長 幹事
第5週	29日 夜間例会			30日 夜間例会		
年間行事	ロータリー 理解推進月間	世界理解月間 RI創立記念日 (23日) IM(22日) クラブ創立記念日 (28日)	地区大会(29.30日)	雑誌月間 ゴルフ同好会	地区協議会(25日)	国際大会 (15-18日) 期末懇親会 ゴルフ同好会 (18日)

ロータリー情報委員会報告

委員長 森 善助
副委員長 山下栄蔵
委員 岡本 健

情報委員会として特別な活動をすることなく一年をすごしてしまいました。しかしロータリー一年間プログラムにある行事活動についてはそれぞれの委員会が十分な情報が会員に提供されたことと思います。

例会その他の行事も多くそれが会員の負担にならないように特に会合を開くことは大変むづかしいことです。例会日に多少なりとも時間をいただき情報を伝達することができればよい方法だと思います。

広報委員会報告

委員長 大地哲郎
副委員長 斉藤宏一
委員 村松勇治

広報を通じロータリークラブの周知を計った。

主な活動として例年の如く地域コミュニティー紙である「みどり新聞」への公告掲載。

緑消防署の火災予防広報板をロータリークラブの援助で一新し、この引渡し式のマスコミ取材を通じ地域への情報提供を行った。

又、最近終末期医療で話題となっている L M D (Let Me Decide) (自分で決める自分の医療) についてカナダのマックマスター大学老人病教室助教授であるウィリアム・モロイ博士を迎えて緑区公会堂で講演会が行われた。緑区医師会と横浜新緑病院共催で行われたが、緑ロータリークラブもこれを後援し、530名の参加者があり盛大な会となった。

社会奉仕委員会報告

委員長 長沼 博
副委員長 土志田猛
委員 横井好明

今年度は、例年実施して来た、緑区の社会福祉協議会、中里学園、区役所等への寄付を一切控えました。寄付を受ける側が、これを当然の権利であるが如く錯覚しているように見えるので、牽制の意味を含めて、1年間休みました。次年度は、新たな基準で予算の配分を考えて下さい。

今年度は、緑消防署に防災看板を（419,000 円）を寄贈しました。また5月21日に会員の皆様のご協力を得て、バザーを実施致しまして、134,700 円の売上が得られました。これを次年度の活動費として繰り越しておりますのでよろしくお願いします。

青少年奉仕委員会報告

委員長 堀井基章
副委員長 名倉健二
委員 矢島誠治

本年度より、「新世代会議」を開催することとなり、当委員会が主体となり、実施した。

「新世代会議」は新しい企画であり、当クラブとして、どのような内容のものを実施するか、会員各位のご協力をお願いしたところ、東鴨居地区に於いて、青少年を取り巻く有害環境等について、総合的な環境浄化活動少年補導を推進し、青少年の非行防止及び健全で明るい環境作りを図ることを目的に、2年間にわたり活動していることを知り、当クラブとして、これを支援すると共に、2年間の活動を、小中学生を中心に発表して戴く「環境浄化発表会」を開催することに決定し実施した。

11月23日に、東鴨居中学校に於て、地区の小中学校教員、各自治会長、緑警察署長、緑防犯協会会長をはじめ、小中学生及び保護者約 100名程度

の参加を得て、ロータリークラブからも、二宮分区代理をはじめ、13名が参加し、盛大に発表会を開催した。

発表会は、小学生 2名、中学生 2名により、環境浄化活動に取り組んできた内容、感想、今後への意見等が発表され、さらに中学校の英国人教員により英国における環境浄化活動についてもお話を戴き、大変、内容のある発表会となった。

若い世代の彼らが、大人と協力し、この地区の環境浄化活動に係わり、かなりの成果を、あげてきたことを、この発表会を通じ多くの方々が知りえたこと、彼らがこの経験を生かし、より健全な環境作りに取り組んでいけることに、期待が持てる発表会であった。

青少年委員会報告

委員長 市瀬栄一

副委員長 岡本 健

委員 田中亮二

第20回青少年指導者養成セミナー（RYLA）が 3月17日～19日の2泊3日で横浜市消防訓練センターにて行われました。

当クラブでは私の会社の22歳の青年が参加させていただきました。

研修終了後の感想文で初めての団体生活をし規律正しい生活を体験したことに感激したと書かれていました。

今の若い者にはなかなかこのような機会がないと思います。今後もっと多くの若者を参加させリーダーシップを発揮できる多くの人を養成すべきと思いました。

インターアクト委員会報告

委員長 村松勇治

副委員長 森 宏

青少年の健全な精神の育成は重要な問題である。我がインターアクトの生徒は先生の指導を守り活動、態度も良く、この様に今後も努めてくれればと思う。

実行行事は下記の通り。

社会奉仕活動	(1) あしなが学生募金 東急田園都市線たまプラーザ駅前 ① 4月21日 ② 4月27日 ③ 10月19日 ④ 10月20日 ※②生徒会社会活動委員会と合同 ③④女子部 I A C ・ 大学 R A C ・ 社会活動委と合同 (2) 鵬翔祭（文化祭）でチャリティーバザー 9月21日・22日 ①『鎌倉清和学園』作品展示即売 ②『横浜市在宅障害者援護協会』 ③ I A C 会員不用品ガレージセール (3) あしなが P ウォーク ① 5月12日 社活委・一般生徒も参加 ② 11月10日 (4) 清掃活動（学園周辺） (5) 『手をつなぐ体育祭』介護参加 桐光 I A C の呼びかけで（10月 6日） (6) 学園ホール行事『落語会』招待のお年寄りの介護（11月27日）
国際理解	(1) 中華人民共和国研修旅行 （含、事前オリエンテーション） (2) インターネットホームページ開設／ボランティア活動について 情報交換
親睦活動	(1) 国際ロータリー2590地区大会 （ 4月13日） (2) I A C 役員会研修会 （ 6月 9日） (3) ボランティア広報紙“スマイルネットワーク”試作 (4) 定例会で“いじめ”についてディベート実施 （ 6月21日） (5) 鵬翔祭で“いじめ”についてのVTRを上映（ 9月21日・22日） (6) 海外研修旅行 事前研修会 （10月26日） (7) インターアクト年次大会（於・桐光学園） （11月17日）

ローターアクト委員会報告

委員長 齋藤清紀

副委員長 小林照二

委員 近藤 襄

1. 会員の減少傾向のなか桐蔭学園のクラブはそれなりの運営が出来る体制にあり、これからも応援していきたい。
2. ローターアクトの年次大会に出席した。
3. ローターアクトの例会には余り参加できず残念でした。

職業奉仕委員会報告

委員長 藤津 均

副委員長 三澤君夫

職業奉仕はロータリークラブと会員両方の責務と考えました。

また会員相互が職業を通じて、お互いを知り合い、なおかつ仕事の交流がもてれば良いと思います。しかしながら今期は、私的な都合で活動がままならず、会員の皆様にご迷惑をおかけしたことを、おわび致します。

活動としては「新世代プログラム」に協力できたことでした。

国際奉仕委員会報告

委員長 森 宏

副委員長 興山正三郎

委員 加藤喜夫

活動計画に則り責任を果たす為に前向きの気持ちで取り組みましたが、正直なところ“あっ…”と言う間の一年でした。

国際奉仕の言葉に吞まれ戸惑いながらも五月の地区協議会の分科会と、

一月の国際委員長会議に出席し勉強するも、地区委員長、ガバナー達の豊富な知識に感心するばかりで如何に私が勉強不足かがよく判りました。

夢の様な事を考えても実現は難事です。小さい事からはじめないと実らない事も分かりました。もう一度チャンスがあればこの経験をもとに活躍したいです。

アザミノクラブの呼び掛で2590地区の各クラブと共に、コピー機2台、タイプライター3台をボリビアに送る活動に参加し、委員長の役目を果たすことが出来ました。国際奉仕活動はクラブ単位では調査も時間も経費も大変です。地区での指導、支援が望ましいと感じました。

興山会員、加藤会員、ご協力有難うございました。

世界社会奉仕委員会報告

委員長 協田幸一

副委員長 土志田猛

1. 「世界社会奉仕」World Community Service について勉強をしようと思って芝公園にある「ロータリーの友」事務所の隣にある「ロータリー文庫」に資料を検索に行った。多くの国際的な奉仕活動のプログラムがあることを知ったが、我々横浜緑R・Cがすでに

①インド・ポリオワクチン供与活動支援

②ボリビアでのサレジオ会倉橋神父への支援

について協力をしているのを知った。

2. 2月5日の例会にて

R. I. 作成の「世界社会奉仕」World Community Service のスライドを2590地区ガバナー事務所から借用してきて供覧した。

ロータリー財団委員会報告

委員長 岡本 健

副委員長 内野 晃

委員 近藤 襄

地区が要望する財団寄付額1人当\$130を目標に新会員はもとより準フェローとして、又P. H. FはM. P. H. Fとしてご協力をお願い致しました。又新ベネファクターには山下栄蔵君、小林新一君のご両名が心よくお引受け頂きました。その結果、目標を若干上乗せ出来た事は皆様方のご協力の賜と感謝申し上げますと共に、茲に下記の如く現況を記載し年次報告と致します。

有難うございました。

(氏名敬称略、順不同)

- ①今年度寄付
- | | | | | |
|--------------------|------------|-----|-----|----------|
| ☆会員 | 44名中 | 26名 | 60% | |
| ☆R財団寄付 | 4260ドル | | | 計 6280ドル |
| ☆ベネファクター | 2000ドル | | | |
| ☆1人当寄付 | 143ドル | | | |
| ☆創立～1997年6月末迄R財団寄付 | 144463.8ドル | | | |
- (内本年度分 6280ドル)

- ②新ベネファクター 2名 山下栄蔵 小林新一
- ③新マルチプル 2名 中林 靖 斉藤宏一
- ④新ポールハリスフェロー 1名 藤津 均
- ⑤現会員ベネファクター 8名
- | | | |
|------|------|------|
| 三澤君夫 | 名倉健二 | 森 善助 |
| 内野 晃 | 中林 靖 | 岡本 健 |
| 山下栄蔵 | 小林新一 | |

- ⑥現会員ポールハリスフェロー 24名

(マルチプルを含む)

土志田猛	遠藤一典	堀井基章	井上周輔	金子朝夫
近藤 襄Ⓜ	小林新一	三澤君夫	森 善助Ⓜ	長沼 博
名倉健二	中林 靖Ⓜ	岡本 健	斉藤宏一Ⓜ	高嶋経保
田中亮二	内野 晃Ⓜ	鶴川 昇Ⓜ	脇田幸一	山下栄蔵

- 矢島誠二㊦ 横井好明 藤津 均 代々木和男㊦
- ⑦現会員準フェロー 上記以外全会員
- ⑧元会員及び会員夫人ボールハリスフェロー

赤柄忠昭	遠藤真作	古谷英太郎	浜田勝弥	日高信良
堀井基章	石川治道	岩本正三	岩岡 正	岩崎基正
岩崎堇正	金子朝夫	加藤勇夫	小林はま子	小林 敬
小林安雄	島田幸夫	城田昭次	鈴木憲一	高橋正文
田辺政雄	田辺しげ子	田中克己	田辺文衛	寺崎誠三
戸田裕也	戸田 修	富永 力	土志田昭吉	和田 功
鶴川楊子	渡辺宏末	藪島五郎	山口吉蔵	幸内伸雄
黒沢 保	松田 税	三橋栄一	森 実	森 玉江
武藤純子	武藤勝典	武藤松一	武藤泰典	武藤義一
長瀬正作	中村彰宏	中山礼子	中山恒三郎	

(順 不 同)

米山奨学委員会活動報告

委員長 土志田猛
副委員長 脇田幸一
委員 北原弘文

横浜緑ロータリークラブ伝統の米山奨学金寄付実績を継承して、次のような実績をあげた。

1. 当クラブの寄付額累計 2,000 万円達成
2. 今期の特別寄付額 81 万円 (但し 2～3年で転勤される方の寄付はご遠慮願った)
3. 新米山功労者(初回) 岡本 健
同 上(初回) 山下栄蔵
新ファンドフェロー(2回目) 加藤喜夫
同 上(初回) 斉藤清紀
3. 今回始めて寄付された方 5 名

活動計画書に基き、米山奨学事業に対する認識を深め自発的に寄付をいただきました。

☆今期 1996年 7月～1997年 6月

普通寄付	215,000 円	上期	$2,500 \times 44 = 110,000$
		下期	$2,500 \times 42 = 105,000$
特別寄付	810,000 円		

☆創立～1997年 6月までの累計

普通寄付	3,550,500 円	
特別寄付	18,266,000 円	(第18回米山功労クラブ)
計	21,816,500 円	

◎米山功労者

会 員	土志田 猛	三澤君 夫	森 善 助	高嶋経保
	内野 晃	鶴川 昇	代々木和男	金子朝夫
	近藤 襄	横井好明	岡本 健	中林 靖
	山下栄蔵	矢島誠治		
元会員 (敬称略)	秋田 茂	岩岡 正	武藤松一	長瀬正作
	田辺政雄	和田 功	富永 力	飯塚金次郎
	城田昭次	幸内伸雄	飯田重雄	小林安雄
	松田 税			

◎米山準功労者

全会員

会員外 小林ハマ子様 内野陽子様

1996～1997年度 決算書

(平成8年7月～平成9年8月)

幹 事 金子 朝夫
会 計 須藤 保夫

1. 一般会計

[収入の部]

科 目	予 算	決算額	差 異	備 考
年 会 費	9,970,000	10,136,250	▲166,250	
入 会 金	300,000	400,000	▲100,000	
雑 収 入	30,000	179,002	▲149,002	
前 期 繰 越 金	80,000	1,235,379	▲1,155,379	
収 入 合 計	10,380,000	11,950,631	▲1,570,631	

[支出の部]

科 目	予 算	決算額	差 異	備 考
本部会計				
人 頭 分 担 金	190,000	170,069	19,931	
地 区 分 担 金	1,030,000	1,071,000	▲41,000	
地区大会分担金	178,000	178,000	0	
地区大会登録料	672,000	735,000	▲63,000	
I . M	320,000	405,000	▲85,000	
地 区 協 議 会	150,000	162,500	▲12,500	
米 山 奨 学 金	230,000	152,000	78,000	
合 計	2,770,000	2,873,569	▲103,569	
総務関係				
例 会 費	300,000	290,940	9,060	
記 念 品	300,000	429,760	▲129,760	
通 信 費	150,000	125,916	24,084	
消 耗 品	150,000	150,259	▲259	
印 刷 費	1,200,000	842,720	357,280	
事 務 委 託 費	2,180,000	2,180,000	0	
備 品 費	50,000	39,016	10,984	
交 際 費	150,000	178,000	▲28,000	
雑 誌 文 献 費	200,000	200,001	▲1	
慶 弔 費	50,000	15,450	34,550	
予 備 費	200,000	100,000	100,000	
特 別 積 立 金	200,000	200,000	0	
合 計	5,130,000	4,752,062	377,938	

科 目	予 算	決算額	差 異	備 考
委員会関係				
出 席	10,000	0	10,000	
職 業 分 類	10,000	0	10,000	
親 睦	600,000	396,459	203,541	
雑 誌	10,000	0	10,000	
会 報	1,200,000	1,311,936	▲111,936	
会 員 選 考	10,000	0	10,000	
会 員 増 強	10,000	0	10,000	
プログラム	300,000	110,000	190,000	
R 情 報	10,000	0	10,000	
S . A . A .	170,000	115,000	55,000	
広 報	100,000	91,200	8,800	
予 備 費	50,000	0	50,000	
合 計	2,480,000	2,024,595	455,405	
支 出 合 計	10,380,000	9,650,226	729,774	
次 期 繰 越 金	0	2,300,405	▲2,300,405	

2. 特別会計（食事の部）

〔収入の部〕

科 目	予 算	決算額	差 異	備 考
年 会 費	1,640,000	1,788,750	▲148,750	
ビジター登録料	50,000	43,000	7,000	
前期繰越金	0	0	0	
合 計	1,690,000	1,831,750	▲141,750	

〔支出の部〕

科 目	予 算	決算額	差 異	備 考
例会食事代	1,400,000	1,522,157	▲122,157	
予 備 費	290,000	290,000	0	
合 計	1,690,000	1,812,157	▲122,157	
次期繰越金	0	19,593	▲19,593	

3. 特別会計（奉仕の部）

〔収入の部〕

科 目	予 算	決算額	差 異	備 考
ス マ イ ル	430,000	1,151,002	▲721,002	
前期繰越金	920,000	920,000	0	
合 計	1,350,000	2,071,002	▲721,002	

〔支出の部〕

科 目	予 算	決算額	差 異	備 考
職 業 奉 仕	50,000	0	50,000	
社 会 奉 仕	300,000	31,510	268,490	
青 少 年	200,000	38,000	162,000	
インターアクト	200,000	303,150	▲103,150	
ローターアクト	200,000	205,000	▲5,000	
国 際 奉 仕	50,000	18,000	32,000	
世界社会奉仕	50,000	0	50,000	
ロータリー財団	50,000	26,650	23,350	
奨学生受入支出	200,000	0	200,000	
予 備 費	50,000	0	50,000	
合 計	1,350,000	622,310	727,690	
次期繰越金	0	1,448,692	▲1,448,692	

平成9年度 決算集計表

収 入			支 出		
一般会計			一般会計		
科 目	予 算	決算額	科 目	予 算	決算額
年 会 費	9,970,000	10,136,250	本 部 会 計	2,770,000	2,873,569
入 会 金	300,000	400,000	総 務 関 係	5,130,000	4,752,062
雑 収 入	30,000	179,002	委 員 会 関 係	2,480,000	2,024,595
前期繰越金	80,000	1,235,379	次 期 繰 越 金	0	2,300,405
計	10,380,000	11,950,631	計	10,380,000	11,950,631
特別会計			特別会計		
科 目	予 算	決算額	科 目	予 算	決算額
年 会 費	1,640,000	1,788,750	例会食事代	1,400,000	1,522,157
ビジター登録料	50,000	43,000	予 備 費	290,000	290,000
前期繰越金	0	0	次 期 繰 越 金	0	19,593
計	1,690,000	1,831,750	計	1,690,000	1,831,750
ス マ イ ル 他	430,000	1,151,002	奉 仕 関 係	1,100,000	622,310
前期繰越金	920,000	920,000	奨 学 生 関 係	200,000	0
			予 備 費	50,000	0
			次 期 繰 越 金	0	1,448,692
計	1,350,000	2,071,002	計	1,350,000	2,071,002
総合計	13,420,000	15,853,383	総合計	13,420,000	15,853,383

※繰越金増加額 1,613,311

横浜緑ロータリークラブ組織表

1996～1997年度（平成8年～平成9年度）

1. 理 事 遠藤一典 藤津 均 堀井基章 加藤喜夫 小林新一
三澤君夫 森 宏 長沼 博 中林 靖

2. 役 員 会 長 小林新一 副 会 長（前） 中林 靖
副 会 長（ILK） 井上周輔
副 会 長 遠藤一典
幹 事 金子朝夫 副 幹 事 加藤喜夫
S A A 高橋忠男 副 S A A 田中亮二
副 S A A 長沼 博
会 計 須藤保夫 副 会 計 東根憲一

3. 委 員 会（◎印：委員長 ○印：副委員長）

（A）クラブ奉仕委員会（担当理事）◎遠藤一典 ○大地哲郎

1. 出 席 委 員 会	◎井上周輔	○高嶋経保	黒沼正雄
2. 職 業 分 類 委 員 会	◎①三澤君夫	○②藪島五郎	横井好明
3. 親 睦 活 動 委 員 会	◎森 一誠	○齋藤清紀	井上周輔 関口将実
	北原弘文	興山正三郎	岩崎恒雄 鶴岡 武
	川井省三	武藤泰典	
4. 雑 誌 委 員 会	◎斉藤宏一	○市瀬栄一	脇田幸一
5. 会 報 委 員 会	◎小林照二	○森 善助	藤津 均
6. 会 員 選 考 委 員 会	◎①名倉健二	○②代々木和男	③内野 晃
7. 会 員 増 強 委 員 会	◎山下栄蔵	○藪島五郎	三澤君夫 鶴川 晃
	中林 靖		

8. プログラム委員会 ◎加藤喜夫 ○堀井基章

9. ロータリー情報委員会 ◎①森 善助 ○②山下栄蔵 ③岡本 健

10. 広 報 委 員 会 ◎大地哲郎 ○斉藤宏一 村松勇治

（B）社会奉仕委員会（担当理事）◎長沼 博 ○土志田猛 横井好明

（C）青少年奉仕委員会（担当理事）◎堀井基章 ○名倉健二 矢島誠治

1. 青 少 年 委 員 会 ◎市瀬栄一 ○岡本 健 田中亮二

2. インターアクト委員会 ◎村松勇治 ○森 宏

3. ロータアクト委員会 ◎齋藤清紀 ○小林照二 近藤 襄

（D）職業奉仕委員会（担当理事）◎藤津 均 ○三澤君夫

（E）国際奉仕委員会（担当理事）◎森 宏 ○興山正三郎 加藤喜夫

1. 世界社会奉仕委員会 ◎脇田幸一 ○土志田猛

2. ロータリー財団委員会 ◎岡本 健 ○内野 晃

3. 米 山 奨 学 委 員 会 ◎土志田猛 ○脇田幸一 北原弘文

備 品 目 録

品 名	数量	品 名	数量
ロータリーの鐘とハンマー	1	卓上名札	23
国 旗	1	テーブル・クロス	12
クラブ旗	2	コーヒー・セット	40
認 証 状	1	マホー・ピン	10
スマイル・ボックス	1	R財団寄附率証明書	1
グッド・ウィル・ボックス	1	茶 棚	1
レクチャー・アンプ	1	シュガー・ポット	6
テープ・レコーダー	1	ナプキン立て	6
レコード・プレイヤー	1	調味料入れセット	6
ワイヤレス・マイク	3	クラブ小旗（さお共）	10
会員個人別ボックス	2	クラブ印（角）	1
書 庫	2	クラブ会計印	1
バナー掛（各クラブのバナー共）	2	書類棚（W 90 × H 180）	2
バナー立て	13	冷蔵庫ナショナル NRB8M3	1
タ ス キ	11	スマイル・レポート入れ	12
パ ネ ル	19	スイス・カウベル	
カ メ ラ	1	漆谷RCから点鐘台（大邱松林RC）	1
黒 板	1	〃 記念楯	1
アクリル名札板	1	R I C O P Y F T4060	1
F A X ・ コ ピ ー 機 富士ゼロックス ABLE3221 No.872156	1	電気ポット	3
		2穴スクリューパーンチ	1
C D プ レ イ ヤ ー	1	事務用回転椅子	1
応接セット 5点	1	携帯用ロータリーの鐘とハンマー	1
ワープロ NEC文豪	1		

充 填 ・ 未 充 填 職 業 分 類 表

正会員 (ACTIVE)

平成 9 年 6 月 30 日現在

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
医 術	内 科 医			
	循 環 器 科 医			
	外 科 医			
	小 児 科 医			
	産 婦 人 科 医			
	歯 科 医			
	口 腔 外 科 医	田 中 亮 二	田中齒科医院	院 長
	整 形 外 科 医			
	耳 鼻 咽 喉 科 医			
	眼 科 医	藤 津 均	フジ眼科齒科クリニック	院 長
	齒 科 矯 正 医	加 藤 喜 夫	愛誠齒科医院	院 長
	麻 酔 科 医			
	病 院	大 地 哲 郎	横浜新緑病院	副 理 事 長
	専 門 病 院	脇 田 幸 一	脇田産婦人科医院	院 長
施設及び病院				

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
施設及び病院 保険 衛生	薬 局			
	保 険 代 理 業	北 原 弘 文	ソニー生命保険㈱	ファイナンシャルプランナー
	ク リ ー ニ ン グ 店			
	洋 品 店			
衣 料	洋 服 店			
	呉 服 店	岩 崎 恒 雄	㈱岩崎呉服店	代 表 取 締 役
	レ ス ト ラ ン			
	菓 子 店			
食品及び嗜好品	酒 店			
	ス ー パ ー			
	文 房 具			
	幼 稚 園			
日 用 品	高 等 学 校			
	短 期 大 学	堀 井 基 章	堀井学園	高校短大理事長
	私 塾			
	Praivate School			
教 育 事 業	Kindaergarten			
	Senior High School			
	Sumier College			
	Praivate School			

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
ビジネスサービス	弁 護 士	Lawyer		
	税 理 士	Tax Service	長沼博税理事務所	所 長
	司 法 書 士	Judiciary Scribner Service		
	経 営 相 談	Business Counseling Service	有須藤企画	代表取締役
	測 量 士	Surveyor		
宗 教	仏 教	Buddhism	福聚院	副 住 職
	神 道	Shintoism		
	運 送 業	Trucking Service		
運輸及び倉庫業	倉 庫 業	Storage		
	電 気 器 具 製 造	Electric Appliance Mfg	㈱武藤電機	代表取締役
機 械 及 び 装 置	建 設 機 械	Construction Machinery		
	機 械 工 具	Machine and Tool	㈱関口金物	専務取締役
	非鉄金属精練	Nonferrous Metals Refining	鶴岡武	代表取締役
	板 金 工 作	Sheet Metal Working		
鉄 及 び 金 属	金 型 製 造	Molds Mfg		

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
自 動 車	自 動 車 販 売			
	自 動 車 整 備	小 林 照 二	㈱ブラザーモータース	代 表 取 締 役
	ガソリンスタンド			
電 気 及 び 通 信	電 気 設 備	村 松 勇 治	㈱ジェス	代 表 取 締 役
	電 話 事 業	高 橋 忠 男	N T T 中山支店	副 支 店 長
	情 報 通 信			
電 子 機 器	電 子 試 験 機	河 渕 雄	新電子工業㈱	代 表 取 締 役
	書 籍 販 売			
	広 告 業			
印 刷 及 び 広 告	印 刷			
	新 聞 配 布			
	看 板 広 告	高 嶋 経 保	横浜標識㈱	代 表 取 締 役
美 容 及 び 整 形	理 容			
	美 容 院			
ホ テ ル 及 び 観 光	ホ テ ル			

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
建 設 事 業	ホテル及び観光			
	旅行 幹 業			
	建設 請 負 業			
	木 造 建 築			
	ビル 建 築			
	土木 工 事	金子 朝 夫	工藤建設㈱	顧問
	舗装 工 事			
	建築リフォーム			
	電気 工 事	市 瀬 栄 一	㈱不二建	代表取締役
	水道 工 事			
建 築 材 料 及 び 装 飾	鉄道 建 設	森 宏	森建設㈱	代表取締役
	設備 工 事			
	型 枠 工 事	興 山 正 三 郎	㈱興山建設	代表取締役
	塗装 工 事			
	建築 設 計	井 上 周 輔	誠和技建工業㈱	代表取締役
	建築 材 料	黒 沼 正 雄	黒沼木材㈱	代表取締役
	建築 材 料			
	建築 材 料			
	建築 材 料			
	建築 材 料			

職 業 業 分 類			会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類	業 分 類			
建築材料及び 室内装飾	生コン配布	Concrete Distributing			
	家具室内装飾	Upholstering	森 一 誠	侑宮地	代表取締役
	ガス・プロパン	Gas and Propan Distributing			
不 動 産	不動産業	Real Estate Agency	斎 藤 晃	㈱八廣	代表取締役
	ビル賃貸	Building Renting			
	土地賃貸	Proprietary Renting			
農 林 及 び 園 芸	農業	Agricuiture			
	木材販売	Lumber Distributing			
	飼料	Feeds			
畜 産	獣 医	Veterinary Surgeon			
	都市銀行	City Banking	川 井 省 三	さくら銀行青葉台支店	支 店 長
	地方銀行	Local Banking	東 根 憲 一	横浜銀行中山支店	支 店 長
金 融	外国為替銀行	Foreign Exchange Banking			
	信用金庫	Credit Banking			
	ゴルフ練習場	Golf Traningyard			
スポーツ及びレクリエーション					

職 業 分 類			会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類	類			
スポーツ及びレクリエーション	ペットショップ	Pet Shop			

シニア・アクティブ会員 (SENIOR ACTIVE)

元 職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
高 等 学 校	Senior High School	鶴 川 昇	桐蔭学園	理 事 長
履 帯	Caterpillar	名 倉 健 二	㈱東京リンク製作所	相 談 役
不 動 産 賃 貸	Real Estate Renting	森 善 助	モリ・ランド	代 表 者
ボ ー リ ン グ 場	Bowling	三 澤 君 夫	三澤 (合資)	代 表 者
銃 器	Fire Arms	岡 本 健	ミロク機械㈱	代 表 取 締 役
建 設 機 械	Construction Machinery	山 下 栄 蔵	山下工業㈱	取 締 役 社 長
外 科 医	Surgeon	内 野 晃	内野医院	院 長
建 築 材 料	Building Material	代々木 和 男	㈱代々木商店	取 締 役 社 長
アスファルト製品	Asphalt Products	中 林 靖	日本舗材㈱	締 役 会 長
ビ ル 賃 貸	Building Renting	矢 島 誠 治	㈱矢島ビルディング	取 締 役
情 報 通 信	Information	横 井 好 明	横井通信工業㈱	代 表 取 締 役
産 婦 人 科 医	Obstetrician and Gynecologist	近 藤 襄	近藤病院	院 長
不 動 産 業	Real Estate Agency	土志田 猛	㈱岩本不動産商会	代 表 取 締 役
ビ ル 賃 貸	Building Renting	遠 藤 一 典	㈱藤栄	代 表 取 締 役
土 地 賃 貸	Proprietary Renting	斎 藤 宏 一	斎藤興業開発㈱	取 締 役 社 長
木 材 販 売	Lumber Distributing	小 林 新 一	小林建設林産㈱	代 表 取 締 役

開	放	90	
	充	29	
	末	61	
	シニア	16	
	充		
	ア		
	ク		
	チャ		
	ブ		
	会員		

